

# 学校教育を軸とした多様な国際交流

—グローバル時代を共に生きる—

編集：日本学校教育学会 国際交流委員会 監修：多田孝志

教育関係者必携。日本学校教育学会による、「教育分野の国際交流」の実践や研究をまとめた論考集。『国際交流と学校教育』に続く第2弾。

AI、ビッグデータの普及、グローバル化、多文化共生時代の到来など大きな転換期を迎え、SDGsなど国際協力の必要性が高まるなか、教育においてはどのような国際交流が求められるのか。日本学校教育学会に所属する教育実践者・研究者たちが、それぞれの教育交流の実践報告や他国の教育研究などをまとめた一冊。



## ◆目次

### 【Part1 総合・探究学習の視点から】

【論文】対話型課題追求学習を活用したESDの授業●中山 博夫

【論文】特別活動と総合的な学習(探究)の時間によるOECDのコンピテンシーと生徒エージェンシーの育成●林 尚示

【論文】持続可能な開発のための教育(ESD)推進の手引きの変遷に関する考察●石田 好広 ほか

### 【Part2 国際交流と異文化理解、多文化共生教育の視点から】

【論文】初等教育における国際交流の意義●石森 広美

【論文】外国人児童生徒等の通信制高校での学びに関する制度的試論●峯村 恒平

【実践記録】グローバル・シティズンシップを育む国際理解教育●林 敏博 ほか

### 【Part3 比較教育の視点から】

【論文】中国におけるキー・コンピテンシーの育成を目指した国際理解教育の実践研究●周 勝男

【論文】日中における「総合的な探究の時間」の比較●牛 玄

【論文】ICTを活用した地理歴史科における教科横断的なカリキュラムの検討●醍醐 身奈 ほか

## ◆編・著者略歴

**編集 日本学校教育学会** 昭和60年9月15日、学校教育に関する実践と理論の緊密化さらには両者の統合を目指す実践者と研究者によって創立。学校教育の実践と理論の統合を課題として、学校教育の実践を理論的に検証し、また一方で学校教育に関する理論の実践上の有効性と限界を検証し、新たな実践上および理論上の地平を切り拓いていくことを目指す。

**監修 多田孝志** 東京学芸大学教育学部卒業、上越教育大学大学院修士課程修了、博士(学校教育学)。現在は目白大学名誉教授、金沢学院大学教育学部長・教授、共創型対話学習研究所所長、日本国際理解教育学会元会長、日本学校教育学会元会長、異文化間教育学会名誉会員、グローバル教育学会顧問、ユネスコ世界大会日本代表、海外留学トビタテ審査委員長 国立大学評価委員等歴任。専門は国際理解教育、対話論、学習論。

ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発売：株式会社三恵社 TEL:052-915-5211 FAX:052-915-5019
	冊	編集：日本学校教育学会 国際交流委員会 監修：多田孝志 <b>学校教育を軸とした多様な国際交流</b> 212頁/B5判/並製本 定価 2000円(税別) ISBN:978-4-86693-706-9 C3037
ご注文は、JRCへ FAX：03 - 3294 - 2177(TEL：03 - 5283 - 2230) 株式会社JRC経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		